

高齢者の子宮頸癌に対する根治的放射線治療の 治療成績と晩期有害事象に関する後ろ向き観察試験

1. 研究の対象：2012年1月から2016年3月の期間に、子宮頸癌の根治的放射線治療を受けた65歳以上の方

2. 研究目的・方法：高齢者の子宮頸癌に対する根治的放射線治療における治療成績と晩期有害事象を調査し、治療成績の予後良好因子や有害事象のリスク因子について明らかにすることを目的とします。放射線科情報システム、カルテ、放射線治療計画ソフトから各データを収集します。

総研究期間は琉球大学の倫理審査委員会からの承認日から2022年3月31日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類：

治療期間の下記項目について放射線科情報システム、カルテ、放射線治療計画ソフトで調査予定

- ① 臨床情報：年齢、Performance Status(PS)、Body Mass Index(BMI)、治療前血中ヘモグロビン濃度・白血球数・血小板数、血液型、糖尿病の有無、高血圧の有無、子宮頸癌の病期・組織型、子宮頸部病変の腫瘍径
- ② 治療情報：放射線治療の処方線量、照射範囲、子宮頸部病変の線量（HR-CTV D90 など）、リスク臓器（膀胱、直腸、S状結腸、小腸、骨）の線量(D2cc など)、抗がん剤併用の有無
- ③ 経過：生存、局所制御、骨盤内制御、遠隔転移、有害事象の各状況

4. お問い合わせ先： 琉球大学医学部附属病院放射線部 平安名常一（研究責任者）
（電話）：098-895-3331（内 2401）

*本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。

**ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

***情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としませんので、上記の連絡先までお申出ください。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

****解析後や結果公表後は拒否されても対応できない場合があるのでご了承ください。